



特集:「議会報告会・意見交換会」より

12月定例会

12月2日

~12月19日

主 な 内 容

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ●特集 議会報告会・意見交換会 … 2 | ●一般質問 …………… 8 |
| ●議案審査 …………… 4 | ●議会の動き・委員会視察……………15 |
| ●議案一覧 …………… 6 | ●選挙期日決定・編集後記……………16 |
| ●請願審査・審議結果 …………… 7 | |

意見交換会

令和6年10月28日(月)

特集
議会報告会・
意見交換会



10代以下
39%

20代
15%

30代
4%

40代
12%

50代
14%

60代
6%

70代以上
10%

参加人数 63名
幅広い年齢層の方に
ご参加いただきました



みんなで考えよう、これからの
丸亀市に必要なことは？



良い制度がたくさんあるのに市民に知られていない。もっと広報に力を入れてほしい。

県外に出た人が戻ってきたいと思えるようなまちづくりを。

コミュニティバスをもっと利用しやすくしてほしい。



市外に勤務する親が休めるよう「丸亀子どもデー」をもっと広報してほしい。

若者の定住に繋がる産業施策が必要だと思う。

市民との会合をもっと開催して情報共有してほしい。



市議会は、参加してくださった皆さんの、市をもっと良くしたい、元気にしたいという思いをしっかり受け止め、市政に反映できるよう努めていきます。

特集

議会報告会・ 意見交換会

令和6年
10月28日月
午後5時30分～7時
マルタス

今回は、若い人の意見をみんなで共有したいとの思いから、これまで別々に開催していた議会報告会と学生との意見交換会を同時に開催しました。初めに今年度議会で審議した事業の報告を行い、次に学生と、最後に参加者全員との意見交換を行いました。大人が大勢いる中でも、各学校を代表する学生の皆さんは堂々と発表してくれました。そんな姿を見て、「しっかりした意見を持っていて感心した。」「これからも学生さんに参加してほしい。」といった感想をいただきました。

学生と考える、若者が定住しやすく子育てしやすい
環境づくりに必要なことは？

幼保の無償化
をすすめてほ
しい。

公共交通の便利
性が悪いので対
策してほしい。

若者や学生が集ま
れる場所や商業施
設の充実に力を入
れてほしい。

男性の育児休暇取得
促進のために、育児
休業給付金を増額し
てはどうか。

共働き世帯が
いつでも安心して
子どもを預けられ
る場所が必要。

若者や子育て支援に
関する施策を、SNS
を活用してもっと発
信してほしい。



12月定例会

令和6年12月定例会を12月2日から12月19日まで開催し、補正予算をはじめ各種条例改正などを審議しました。ここでは主な質問と討論、審議結果などを掲載します。

・議員提出議案第1～3号
|| 提案理由の説明、質疑、討論、採決
・意見書案第3号
|| 提案理由の説明、意見、採決

・議案第122～130号
|| 提案理由の説明、質疑、討論、採決
・委員長報告、
及び請願第4号
|| 議案第88～121号

・教育民生委員会
19日

・都市環境委員会
12日

・総務委員会
11日

・一般質問
10日

・5～6日、9～
付託
常任委員会に

・議案第88～121号
|| 質疑の後、各

・4日

・議案第87号
|| 提案理由の説明、質疑、討論、採決
・議案第88～121号
|| 提案理由の説明

2日

補正予算 議案第88号

市制施行20周年記念事業費

補正額：540万円

PRグッズ作成に係る業務委託料等の経費を計上するもの。

Q

記念グッズの内容や数量はどのように決めたのか。

A

市制施行20周年をPRできるよう、目につきやすく普段使いできる内容とした。また、グッズの単価や各課での配布予定事業と必要数を参考に数量を決めている。

補正予算 議案第88号

耐震改修促進事業費

補正額：352万8千円

大規模地震発生時に建築物の倒壊が通行に支障を及ぼさないよう、緊急輸送道路の沿線にある建築物の耐震診断に対する補助金を措置するもの。

Q

市内での複数想定される対象建築物に対し、耐震診断や改修工事の目標件数はあるか。

A

補助金を活用した場合でも、事業者は3分の1の費用を負担する必要がある、資金計画との兼ね合いから直ちに申請件数が増えるものではないが、県と共に戸別訪問を行うなど着実に進めていきたい。

補正予算 議案第88号

ギガスクール構想に係る生徒用タブレット端末購入費（債務負担行為）

補正額：1億7,984万6千円

後年度負担の限度額を定めるもの。

Q

北欧のICT教育先進国では紙の教科書に戻る動きも見られるが、本市の考えは。

A

タブレット端末を取り入れたICT教育は始まったばかりであり、国の教育方針に変わりはないため、国や県と協力して学校現場の実態に応じた活用を進めていきたい。

補正予算 議案第88号

市内コミュニティセンターの指定管理料（債務負担行為）

後年度負担の限度額を定めるもの。

Q

現在の指定管理料の7割から8割程度増額となる理由は。

A

現在の職員2名体制では年休の取得が困難であり、近年施設管理に加えコミュニティの事業運営の事務負担や行政からの依頼で事務量が増加していることから、職員の増員や処遇改善に係る人件費を増額したため。

補正予算
議案第88号

私立保育園等援助費

補正額: 217万5千円

新たに整備される小規模保育事業所に対するオムツの自園処理や業務効率化に係る経費を補助するもの。

Q

保育所等業務効率化推進事業補助金について、登降園管理等システムの活用方法と導入効果は。

A

園児の登降園管理のほか保護者との連絡に活用するとともに、保育に関する計画や記録をシステム上で管理することで事務作業の効率化が図れる。

補正予算
議案第88号

大手町地区4街区立体駐車場整備に伴う概略設計業務委託料、地質調査業務委託料(債務負担行為)

補正額: 1,500万円、950万円

後年度負担の限度額を定めるもの。

反対

反対 (中谷真裕美)

丸亀城前の景観や在り方について、市民との情報共有や意見聴取をするなど丁寧に進めていく必要があり、その他の用地で駐車場確保の可能性をもっと検討すべき。

補正予算
議案第90号

モーターボート競走事業会計補正予算(債務負担行為)

SG競走である第52回ボートレースオールスターの開催決定に伴い、販売促進等業務委託料の債務負担行為に期間及び限度額を追加するもの。

Q

グリーン・モーヴィ運営業務委託料1億5千万円の根拠は。

A

現在の年間運営費はグリーンが約5千万円、モーヴィが約8千万円であり、令和7年度は人件費や必要経費の増加を見越して計上している。

工事請負契約の締結
議案第96号

金山地区隣保館・児童館新築工事

大建住宅株式会社と工事請負仮契約を締結したため、議会の議決を求めるもの。

Q

現在の隣保館、及び児童館の築年数は。また、駐車場は十分に確保されているのか。

A

築年数は隣保館が43年、児童館が46年である。また、駐車台数は、施設管理者と協議の上、現在よりも多く停められるよう工夫し、必要台数を確保している。

補正予算
議案第122号

年度当初の人事異動及び人事院勧告に伴い職員の報酬等の措置を行うとともに、議員期末手当や派遣委託料を追加計上するもの。

条例改正
議案第127,128,130号

市長や議員等の期末手当を引き上げ

人事院勧告に準拠した改正を行うもの。

反対

議案第122、127、128、130号に反対 (中谷真裕美)

人事院勧告は労働基本権の制約を受ける公務労働者に対する代償措置であるため、自ら給料や報酬を提案できたり決めたりする権限を持つ市長等の特別職や議員が人事院勧告に準拠する必要はない。

令和6年12月定例会で審議された議案等

議案番号	件 名	議案番号	件 名	議案番号	件 名
第87号	専決処分の承認(令和6年度丸亀市一般会計補正予算(第5号))	第104号	指定管理者の指定(丸亀市飯野コミュニティセンター)	第122号	令和6年度丸亀市一般会計補正予算(第7号)
第88号	令和6年度丸亀市一般会計補正予算(第6号)	第105号	指定管理者の指定(丸亀市川西コミュニティセンター)	第123号	令和6年度丸亀市介護保険特別会計補正予算(第2号)
第89号	令和6年度丸亀市駐車場特別会計補正予算(第1号)	第106号	指定管理者の指定(丸亀市郡家コミュニティセンター)	第124号	令和6年度丸亀市モーターボート競走事業会計補正予算(第4号)
第90号	令和6年度丸亀市モーターボート競走事業会計補正予算(第3号)	第107号	指定管理者の指定(丸亀市垂水コミュニティセンター)	第125号	丸亀市職員の給与に関する条例の一部改正
第91号	丸亀市市税条例及び丸亀市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	第108号	指定管理者の指定(丸亀市栗熊コミュニティセンター)	第126号	丸亀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
第92号	丸亀市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定	第109号	指定管理者の指定(丸亀市岡田コミュニティセンター)	第127号	丸亀市市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
第93号	丸亀市市税条例等の一部を改正する条例の制定	第110号	指定管理者の指定(丸亀市富熊コミュニティセンター及び同分館)	第128号	丸亀市モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正
第94号	丸亀市立学校体育施設使用条例の一部改正	第111号	指定管理者の指定(丸亀市飯山南コミュニティセンター)	第129号	丸亀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
第95号	工事請負変更契約の締結(丸亀城石垣復旧に伴う石材製作等工事)	第112号	指定管理者の指定(丸亀市飯山北コミュニティセンター)	第130号	丸亀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
第96号	工事請負契約の締結(金山地区隣保館・児童館新築工事)	第113号	指定管理者の指定(丸亀市手島自然教育センター)	請 願 第 4 号	再生可能エネルギー施設の適正な設置に関する条例制定を求める請願
第97号	物品の購入(丸亀市民会館海外製フルコンサートグランドピアノ)	第114号	指定管理者の指定(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館)	議員提出議案 第 1 号	丸亀市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正
第98号	指定管理者の指定(丸亀市城北コミュニティセンター)	第115号	指定管理者の指定(丸亀市民体育館ほか9施設)	議員提出議案 第 2 号	市長専決処分事項の指定に関する件の一部改正
第99号	指定管理者の指定(丸亀市城西コミュニティセンター)	第116号	指定管理者の指定(綾歌森林公園畦田キャンプ場ほか1施設)	議員提出議案 第 3 号	丸亀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
第100号	指定管理者の指定(丸亀市城乾コミュニティセンター)	第117号	指定管理者の指定(丸亀市綾歌健康づくりふれあいセンター)	意見書案 第 3 号	公営競技納付金制度の廃止に関する意見書
第101号	指定管理者の指定(丸亀市城坤コミュニティセンター)	第118号	指定管理者の指定(丸亀市保健福祉センターほか2施設)		
第102号	指定管理者の指定(丸亀市城南コミュニティセンター)	第119号	指定管理者の指定(大手町第一駐車場ほか5施設)		
第103号	指定管理者の指定(丸亀市土器コミュニティセンター)	第120号	指定管理者の指定(丸亀駅南第二自転車駐車場ほか4施設)		
		第121号	市道路線の変更(津森町位1号線)		

議案の概要等はこちらからご覧いただけます。



請願審査結果

請願第4号 再生可能エネルギー施設の適正な設置に関する条例制定を求める請願

郡家南団地 自治会長 藤田 徹

●請願の趣旨

郡家町宝幢寺池等の水上ソーラー発電事業には、市が関与せず、周辺環境や生態系への影響、災害の危険性の高まりから多くの反対意見が集まっている。今後、当該地域以外でも再生可能エネルギー施設の設置が予想されるが、対応する法律や条例が整備されておらず行政として住民の視点に立った適切な対応が難しい状況にあることから、市全域の生活環境を守り安心安全な市民生活が確保できるよう条例の制定を求める。

●審査結果 採択

討論

【賛成】 真鍋 順穂

国や県のガイドラインのみで事後発生の恐れがある諸問題まで想定するには、不十分さが否めない。よって、判断基準となる本市独自の条例を制定し、設置に係る混乱防止と円滑な導入を目指すべきである。

【反対】 武田 孝三

一部意見を基に短期間で条例制定に至るのではなく、議会で議論を深め、合意形成を目指すべきである。

【賛成】 内田 俊英

設置に伴い変化する住環境や景観等に対して、行政が将来を見据えた積極的な姿勢を示すべきである。

令和6年12月定例会

賛否が分かれた議案等の審議結果

議 案 名		議 員 名 ()内は 所属会派	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				渡邊 一馬 (市民クラブ)	守家 英明 (市民クラブ)	角野 仁美 (市民クラブ)	中谷真裕美 (会派無所属)	東 由美 (志政会)	神田 泰孝 (会派無所属)	水本 徹雄 (会派無所属)	岡田 剛 (会派無所属)	廣田 勝也 (志政会)	武田 孝三 (志政会)	香川 勝 (志政会)	川田 匡文 (亀城会)	横川 重行 (市民クラブ)	加藤 正員 (市民クラブ)	大西 浩 (市民クラブ)	竹田 英司 (亀城会)	三宅 真弓 (志政会)	多田 光廣 (亀城会)	福部 正人 (公明党)	内田 俊英 (公明党)	真鍋 順穂 (亀城会)	横田 隼人 (志政会)	山本 直久 (亀城会)	大前 誠治 (志政会)
議 案 第88号	令和6年度丸亀市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○
議 案 第122号	令和6年度丸亀市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○
議 案 第127号	丸亀市市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○
議 案 第128号	丸亀市モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○
議 案 第130号	丸亀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○
請 願 第4号	再生可能エネルギー施設の適正な設置に関する条例制定を求める請願	採択	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	◆	○	○	×	○	×

○は賛成、×は反対した者です。なお、◆は議長のため採決には参加していません。※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

一般質問

市指定のゴミ袋で安否確認



角野仁美議員
(市民クラブ)



A 市長公室長 大規模災害時には、電話等の通信網が不通となり、安否確認が円滑に行えない状況が想定されるが、安否不明者が多くなれば人

Q 西日本豪雨で、近隣住民の安否が不明で声かけに時間を要したこと、それから、「我が家は無事です」と多言語で印刷された市指定のゴミ袋を有事に玄関等に結びつけることで、無事を示す準備をしている自治体がある。本市でも同様に市指定のゴミ袋を活用しては。

命救助に時間を要し、最悪の場合救えなはずの命を取りこぼしてしまう可能性がある。

そこで、どこか家庭にもある市指定のゴミ袋を活用することで、共通の安否確認手段として提供できる上、日常的に使用することで互いの安否確認の意識づけにもつながると考える。今後、文言やデザイン、導入時期を検討するとともに、活用方法や周知方法の課題について関係部局と協議を進める。

その他の主な質問項目

●防犯対策機器設置補助制度の創設 ●人材育成を踏まえた学校教育の在り方

小学校屋内運動場に空調設備を



大前誠治議員
(志政会)



Q これまでの一般質問でも訴えてきた小学校屋内運動場への空調設備設置は、使用頻度や費用対効果から実現に至らなかった。近年猛暑日が増加する中、災害時の避難施設や地域団体に使用されることから、国の補助金を活用した空調設備の設置が必要ではないか。

A 教育部長 利用率や財政状況を考慮し、小学校屋内運動場の空調設備設置を見合わせてきたが、近年の気候変動による教育活動への影響が

顕著となり、屋内運動場での体育授業後に体調不良を訴える児童が出ることもあった。文部科学省や総務省による支援に加え、国の令和6年度補正予算案には、体育館の空調を含む公立学校の施設整備への支援制度が検討されている。

そこで状況変化を踏まえ、これまでの方針を転換し設置に向けて次年度以降の予算編成に取り組む。



その他の主な質問項目

●市長選挙への取り組みと来期への考え ●小学校水泳授業の民間委託 ●都市部の治水行政

一般質問

地方創生と交付金の活用



武田孝三議員
(志政会)



Q 新政権の発足に伴う地方創生施策として、自治体への交付金額や使途の拡充が見込まれる。地域の特性に応じた柔軟な取り組みが可能となるが、AIデマンド交通や防災強化、物産館への活用をはじめとした本市の既存事業や新年度事業の活用に向けて早期の準備が必要ではないか。

A 市長公室長 新しい地方経済・生活環境創生交付金は、国からの情報提供と意見聴取後、徐々に詳細なスキームが明らかになると見込まれる。

そのため、まずは本市既存事業や新年度事業に活用可能か動向を注視していく。その上で、確実に財源として捕捉することはもとより、当交付金を活用した新たな政策についても検討を進める。

日本全体の活力を取り戻すための地方創生の推進強化は、地方にとって絶好のチャンスであり、交付金ほか国の支援策を有効に活用しながら本市の特性に応じた地方創生策を展開していく。

その他の主な質問項目

- 地域経済

市長の来期への展望と決意



真鍋順穂議員
(亀城会)



Q 去る9月定例会では、市長の第1期目を総括した上で、市民や定住自立圏域住民の広義の福祉の向上に係る所信を尋ねた。これを受け、今定例会では、松永市長の来期への展望と決意を問う。

A 市長 令和7年4月の市長選挙に立候補し、来期も引き続き物価高騰対策や人づくり石垣プロジェクトの着実な前進、待機児童対策など市民福祉の向上に全力を注ぐ決意をしました。

さらに、総合排水計画に基づく事業着手、まちなか再生への新たな展開、広域行政の推進、デジタルと協働の力を活用した地方創生など、これまでの歩みを止めない明日の丸亀を創る取り組みを進める。

新市制施行20周年の重要な時期だからこそ、私自身が先頭に立ち、諸先輩方が築き上げてきた丸亀を、50年後、100年後の未来へと確実につないでいく、その使命を果たしたい。

その他の主な質問項目

- 大規模災害時の避難所設備・備品拡充の実態 ● 市私立保育園運営等への予算措置の改善 ● 混迷する国の農業政策—国民ひいては市民の生命を守るか

一般質問

人づくり石垣プロジェクトと「友遊」



香川 勝 議員
(志政会)



A 教育長 「友遊」では、個に応じた学習指導や軽スポーツ、調理実習など社会的自立に向けた活動を行い不登校児童・生徒の居場所や学び

Q 全国的に増加傾向にある不登校児童・生徒に対し、本市では個別相談や指導、小集団での活動を通して主体性や社会性を培い、学校生活への適応と自立を援助する教育支援センター「友遊」を設置しているが、その現状は。また、学校や家庭、教育委員会との連携に課題は。

を保障している。一人ひとりへの支援充実のため、入級時の面談や送迎時の保護者との会話を通じた家庭環境や日常生活の把握に加え、学校への定期的な報告や市教育委員会担当者が毎日「友遊」を訪問する中で、連携を深めている。連携して子ども達の現状を確認する中で連絡が取りづらい家庭や、様々な事情で通学が困難な児童生徒が存在するという課題に対し、改善方法を前向きに検討していく。

その他の主な質問項目

●孤独・孤立対策推進法 ●組織マネジメント

給食の黙食見直しを



渡邊一馬 議員
(市民クラブ)



Q 先日、市内小学校の給食を見学した際、全学年のうち7割のクラスが同じ方向を見ながら食事をする黙食を続けていた。市内の小・中学校の給食の実態、状況は。また、新型コロナウイルス対策として実施した給食時の黙食を5類移行となった現在も続けている理由は。

A 教育長 コロナ以前と同様、給食時に一定時間は会話をせず、放送を聞きながら落ち着いて食事をした後、近くの友達と会話しながら食べて

もよいと指導しており、その時間になれば近くの友達と話をしている様子が見られる。また、給食時の机の向きは、学級の実態に応じ、何人かで机を合わせる学級もあれば、全員が前を向いて食べているという学級もあり、いずれの形態を取るかは各学校での判断としている。いずれにしても、学習指導要領のとおり、給食の指導を通して望ましい食習慣の形成と食事を通じたよりよい人間関係の構築を目指し、学校給食の本来的目的を果たしていく。

その他の主な質問項目

●地域包括支援センター、業務負担軽減と重層的支援体制整備事業

一般質問

水道インフラに今なすべきこと



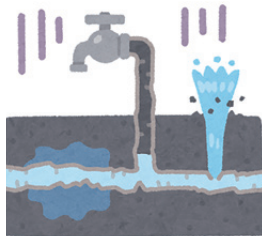
内田俊英議員
(公明党)



Q 水道企業団議員を務める中で、県知事に水道管耐震化率の認識や工事発注の状況を質問した。令和10年に県一本化しての水道企業経営がいよいよ開始されるが、それまでの間に本市独自で耐震化率を伸ばし、地域の実情に精通した水道事業者の確保・育成に配慮すべきでは。

A 市長 水道事業は、料金収入を主財源として事業運営を行う独立採算制が大原則であり、計画的な管路の更新等は水道料金を財源として企

業団が主体となつて行うべきと考える。一方で、緊急時に地域の実情に精通した事業者の協力や確保・育成は、能登半島地震の現地視察から得られた教訓として憂慮している事項であり、本市として、地元事業者の事業継続にダメージを与えることのないよう企業団の事業運営を厳格に監視するとともに、必要な協議等を行っていく。



その他の主な質問項目

●「地方創生2.0」やるのは国でなく地方である ●「おひとりさま」への安心施策 ●SNS時代にこそ求められる「主権者教育」

犯罪被害者等支援条例の制定を



守家英明議員
(市民クラブ)



Q 空き家や独居高齢者の増加など犯罪に対する社会のぜい弱性の高まりが懸念される中、全国では、犯罪被害者への支援金や相談窓口設置等支援制度を条例で定めた自治体がある。被害者が再び平穏な生活を営むことが出来る安心安全な社会の実現のため、本市の条例制定に係る考えは。

A 市長 犯罪被害者やその家族・遺族の多くは心身や財産の被害だけでなく、周囲の無理解や中傷の理由から精神的にも様々な困難が生じ支

援が必要な場合もある。そこで国や県では、被害者支援の法律制定や条例施行に伴う見舞金の給付、法律相談や心理カウンセリングの相談体制の充実が行われている。

本市でも、犯罪被害者支援団体から条例制定の要望を受け、犯罪被害に遭われた方へ日常生活のサポートに向けた支援の取り組みを進めるため、県内他市とも情報共有を図り、早期の制定に向け準備する。

その他の主な質問項目

●離島振興施策 ●子ども家庭センターの設置 ●城辰保育所地域子育て支援センター

一般質問

待機児童解消に向けた 保育士確保を



加藤正員議員
(市民クラブ)



Q 本市では、4月1日時点の待機児童は0人だが、年度途中から入所希望が増え、年度末には200人を超える待機児童が発生している。その原因を保育士不足と捉え、これまでに修学資金貸付など策を講じているが、依然として解消してない。そこで、貸付金の増額や新規採用者への一時金など更なる対策が必要ではないか。

A 教育部長 修学資金貸付金は昨年度から貸付者が単年度で10人を超えており、これからの保育士確保

に向けて成果を見せ始めている。また、この制度は市内の保育所等に就職後継続して3年以上勤務した場合に貸付金の返還が免除になることから、支払時期は異なるものの、新規採用者に対する一時金と離職防止の効果も併せ持つ制度設計として運用している。したがって、制度利用者の拡大に対応できるよう必要な予算の確保に取り組む。



その他の主な質問項目

●協働のまちづくり ●公益通報制度

日本女性会議の本市開催に向けて



三宅真弓議員
(志政会)



Q 男女共同参画社会の実現に向け、1984年以降全国各地で開催されている日本女性会議が、2027年に丸亀市で開催されることとなった。参加者が2000名を超える会議であり、実施に向けては相應の準備が必要と考えるが、開催予定日や実行委員会の人選は。

A 総務部長 開催日は、今年夏頃立ち上げ予定の実行委員会決定予定だが、現在建設中の新市民会館をメイン会場として、2027年秋頃

の開催を考えている。また、本会議を意義のあるものにするためには、市民の方々が主体となつて、企業や行政と連携した取り組みが必要不可欠であり、実行委員会の人選には、市内の各種団体、企業、学校等に対し、会議運営への協力を働きかけたい。特に次代を担う若者には、多くの人の体験や意見に触れ、自分がどう生きていきたいか、どんな社会をつくっていききたいかを考える機会となることを期待している。

その他の主な質問項目

●带状疱疹ワクチン接種補助の必要性

一般質問

市民交流活動センターマルタスの カフェ専用区域使用料に 営利加算を



中谷真裕美議員
(会派無所属)



Q マルタス1階のスターバック
ス部分は市に使用料を納め営業
しているが、その額年間160万円、
1日わずか4400円である。税金で
建てた公共施設の使用料が一市民も収
益活動の企業も同基準であるのは見直
すべき。根拠となる行政財産の使用料
徴収条例に営利加算の設定を。

A 協働推進部長 マルタス内のカ
フェ専用区域の使用料は、丸亀
市行政財産の使用料徴収条例に基づ
き、令和6年度は年間165万円の使

用料を徴収した。マルタスのカフェ機
能は市が定めた「管理運営計画」の中
で示した施設の目指す姿を実現する必
要な機能であり、運営事業者の営利を
目的としたものではない。使用料に
営利加算の規定を
設けることは出店
意欲の低下にもつ
ながり、現時点に
おいては適当でな
いと考える。



その他の主な質問項目

●子ども達を性犯罪から守るために ●補聴器
装用につなぐ高齢者難聴への支援を

人権尊重のまちづくり



岡田 剛 議員
(会派無所属)



Q 被差別部落と称して特定地域
を撮影した動画を拡散する行為
やSNSでの誹謗中傷が深刻な問題と
なっている。情報流通プラットフォーム
対処法が成立し、事業者の自主規制
による一定の歯止めは見込まれるが、
市として、インターネット上の誹謗中
傷等に関する条例制定の考えは。

A 総務部長 近年、インターネッ
ト上の誹謗中傷や人権侵害に関
する国の法改正が積極的に行われてい
る。本市も深刻で重大な社会問題と認

識し、小中学生へのネットリテラシー
教育や、啓発チラシの制作及び配布、
講演会を開催している。

今後、法改正に基づく国のガイドラ
インや大手プラットフォーム企業に課
された具体的な削除基準や差別投稿の
防止と抑止に関する施策、対応事例及
びその効果を検証する。また、条例の
制定に向けて前向きに検討するととも
に、先進自治体の取り組みを調査・研
究する。

その他の主な質問項目

●離島振興 ●中心市街地の活性化

一般質問

国道11号線の混雑解消



水本徹雄議員
(会派無所属)



A 市長公室長 時差出勤の導入は、混雑解消に一定の効果が期待できると考えるが、開庁時間内で職員数が少なくなるなど業務の遂行や市民サービスの提供に支障が生じる可能性も

Q 朝・夕の通勤・通学ラッシュで、国道11号線とそれにつながる県道・市道の渋滞が常態化している。市の方針として、国道11号線を利用している職員の時差出勤や、渋滞に影響のない出勤ルートへ変更するなど、渋滞改善に向けた姿勢を示しては。

あることから導入に至っていない。また、通勤ルートを変更した場合でも全体の交通量に変化はなく、別の交差点での渋滞につながると懸念され、抜本的な混雑解消につなげることは難しいと考えている。

そこで、道路改良工事のハード事業について、国や県への要望を継続して行うとともに、引き続き関係団体の取り組みに積極的に参画し、通勤時の混雑解消に寄与していく。

その他の主な質問項目

●丸亀駅前地下駐車場の利便性向上●(仮称)丸亀市立城東こども園の交通面●市民との協働

感想ノートで丸亀城の落書き防止



神田泰孝議員
(会派無所属)



Q 11月、丸亀城天守の柱に落書きが見つかった。注意喚起は、来訪者のモラルに頼る面が大きく、防犯対策が十分と言えるのか。また、ニッカリ青江公開展に設置された「ご意見・感想ノート」には、多くの愛溢れるコメントがあったことから、天守内でも同様のノートを設置すれば、一部の落書きを解決できるのではないか。

A 教育部長 落書き判明後直ちに英語を含む注意喚起と、見回りを強化した。天守入り口や大手門に防

犯カメラを設置しているが、今回の事案を受け、重要文化財に配慮しつつ新たに天守内各階への防犯カメラ設置に取り組む。

また、「感想ノート」は、落書き抑制や丸亀城の今後の活用にも有効と考え、設置に向けた検討を進める。

丸亀城のみならず、塩飽勤番所跡や快天山古墳など貴重な文化財を確実な形で後世に引き継いでいけるよう防犯体制の更なる強化に取り組む。



その他の主な質問項目

●丸亀うちわブランドのさらなる向上●子宮頸がん検診と乳がん検診の拡充●がん患者医療用補整具助成事業の対象者拡充

議会の動き

10・11・12月

10月

- 7～8日 市民会館整備特別委員会視察
- 11日 議員研修会「自治体DX入門講座」
- 28日 議会運営委員会
広報広聴委員会
議会報告会・意見交換会
- 29日 市民会館整備特別委員会
都市環境委員会協議会
- 30日 市民会館整備特別委員会

11月

- 20日 議会運営委員会
総務委員会協議会
都市環境委員会協議会
- 22日 教育民生委員会協議会
- 26日 広報広聴委員会
各派会長会

12月

- 2日 本会議
各派会長会

- 4～6日 本会議
- 9日 本会議
- 10日 本会議
広報広聴委員会
- 11日 総務委員会
総務委員会協議会
都市環境委員会
議会運営委員会
- 12日 教育民生委員会
教育民生委員会協議会
- 16日 議会運営委員会
- 19日 本会議
全員協議会

他市議会の視察受け入れ

他市の議員、職員が本市の施策を視察しました。

- 10月18日 福岡県古賀市
「まんでネット」
- 10月23日 熊本県人吉市
「公共交通」

- 10月24日 神奈川県愛川町
「川西地区自主防災活動」
- 10月30日 東京都台東区
「東洋炭素アーバンスポーツパーク」
- 11月7日 愛知県蒲郡市
「土器地区防災まちづくり活動」
- 埼玉県八潮市
「市民交流活動センター マルタス」
- 11月11日 福島県須賀川市
「シティプロモーション及び移住定住」
- 11月12日 福島県白河市
「シビックロータリー整備を中心とした整備事業」
- 山口県下松市
「市民交流活動センター マルタス」
- 11月13日 福島県田村市
「移住定住促進の取り組み」

市民会館整備特別委員会視察

10月7日～8日

兵庫県神戸市【都市公園の整備】・兵庫県豊岡市【観光拠点施設の整備と周辺施設の関係】

神戸市の東遊園地では、公園内に芝生ひろばや木陰だけでなく、子どもの遊び場やにぎわい拠点施設など多種多様なニーズに対応した仕掛けが多く見られた。市民のニーズの把握と実現への検討に時間をかけ丁寧に取り組む事で、市民にとって利便性の高い施設になると考える。

年間約56万人が訪れる豊岡市の出石城下町と「いずし観光センター」では、コロナ前と比較し、来訪者の移動手段の大半を自家用車が占めるようになり、駐車台数が満車となれば周辺の空き地を臨時駐車場として対応している。

一方で、長期間滞在する者が少なく観光消費による地域経済への還元が少ないことは、検討しなければならない課題である。

今後、本市でも大手町地区4街区の再編整備を進めるにあたり、市民にとって利便性が高く、誇りに思える空間を目指すことはもちろん、中心市街地エリアの活性化を検討していきたい。



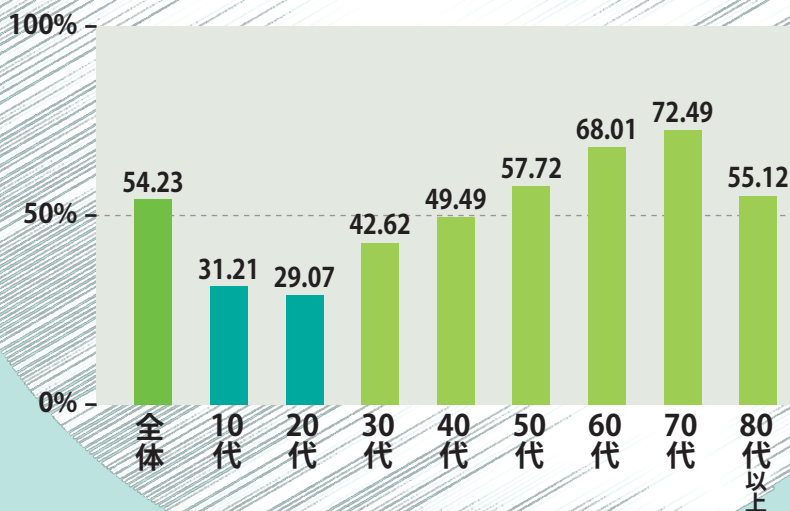
公園内を現地視察



豊岡市出石庁舎での研修

丸亀市長・市議会議員選挙

選挙期日 令和7年4月20日(日)



4年前の
選挙の投票率、
ご存知ですか？

10代、20代の
投票率が低い
ことが分か
ります。

投票ってどんな手順ですか？
投票所ってどんな雰囲気？

そんな疑問を解決する投票所体験VR映像コンテンツです。

丸亀名物骨付きどりマスコットキャラクター
「とり奉行骨付じゅうじゅう」と一緒に
投票を体験してみよう！

次は実際の
選挙で投票に
行ってみま
せんか？

▲VR映像は
こちらから！

とり奉行骨付じゅうじゅう

編集
後記

先日、丸亀市にある「みなくる広場」で障がいのある人への理解やパラスポーツの楽しさをさらに多くの方に知ってもらうための「障がい者スポーツ体験会」が開催され、参加させていただきました。

身体障がい者野球やパラ陸上を体験し、とても良い運動になり、心身の健康に役立てました。

私たち市議会議員は、障がいがある人もない人も、丸亀市でさらに豊かに暮らしていくために皆さまからのお声をお預かりして議会で質問などを行い、様々な課題に取り組んでいます。是非とも皆さまからのお声をお寄せください。

広報広聴副委員長

角野仁美